

日本の革新的サケ・マスふ化器、カザフスタンへ！

フラット合成が挑む！稚魚生存率向上

国際協力機構（JICA）は12月20日、「2024年度中小企業・SDGs ビジネス支援事業（JICA Biz）～ニーズ確認調査～」において、フラット合成株式会社（北海道札幌市、平村由佳 代表取締役社長）が提案する「さけます用ふ化関連資材普及にかかるニーズ確認調査（カザフスタン）」を採択しました。

フラット合成は、カザフスタンでのサケ・マスのふ化器活用の技術指導、製品販売を通じて、稚魚の生存率とふ化率を現在の60%から90%に向上させることを目指します。これは、2030年までに養殖生産量を約30倍にするというカザフスタン政府の計画にも合致しています。

同社はロシアで60%のシェアを持っていましたが、ロシアのウクライナ侵攻により新たな市場を探する必要が出てきました。この事業を通じて、カザフスタンで新たな販路を開拓するとともに、水産品の生産向上による経済成長に貢献することが期待されています。また、本プロジェクトは北海道銀行と連携し、海外展開の検討・調査を行う「地域金融機関連携」の一環となっています（https://www.jica.go.jp/domestic/sapporo/information/press/2023/_icsFiles/afieldfile/2024/02/22/20240222NEWSRELEASE.pdf）。



写真提供：フラット合成(株)/左：安定的な水量と酸素量を確保できる浮上槽を使用した稚魚の飼育。右：死卵の混入率1%以下におさえる検卵機。

本事業は、中小企業・SDGs ビジネス支援事業(JICA Biz) ニーズ確認調査として実施されます。同事業は、途上国の課題解決に貢献し得る技術・製品・ノウハウ等を活用したビジネスアイデアや ODA 事業での活用可能性の検討、ビジネスモデルの検証を目指すものです。詳細は、文末にある関連リンクをご参照ください。

【関連リンク】 「中小企業・SDGs ビジネス支援事業（JICA Biz）」概要：

https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html

フラット合成株式会社

<https://furatt.co.jp/>

(プレスリリース) 2024年度「中小企業・SDGs ビジネス支援事業(JICA Biz)」:

地域金融機関との連携案件 20 件を含む 57 件の採択を決定

https://www.jica.go.jp/information/press/2024/20241223_41.html



【本件に関する問い合わせ先】 JICA北海道(札幌) 市民参加協力課 古家

TEL:011-866-8421 e-mail : Furuya.Atsuko@jica.go.jp